資料5

水循環の健全性に関する評価指標・評価手法について

内閣官房　水循環政策本部事務局
令和４年９月

水循環ロゴマーク

水循環の健全性に関する評価指標・評価手法

- 「水循環基本計画（令和2年6月16日閣議決定、令和4年6月21日一部改正）」において、「流域マネジメントによる水循環イノベーション　～流域マネジメントの更なる展開と質の向上～」を重点的に取り組む主な内容として位置づけ。
- 流域マネジメントの質の向上を図るため、流域における水循環の健全性や流域マネジメントの取組の効果等を「見える化」する評価指標・評価手法の確立を推進。

背景

○　水循環の現状の評価や各種施策の効果の評価については、評価指標や評価手法が標準化されていない中で、各地域において、試行錯誤的に取り組まれているところ。

○　流域において実効性の高いマネジメントを行うためには、水循環の現状や課題を「見える化」することにより、課題に対して施策がもたらす効果等について定量的な評価を行うことが効果的。

期待される効果

流域における水循環の現状や施策効果を「見える化」する評価指標・評価手法の確立により、流域マネジメントの質の向上を支援

令和4年度以降の取組の流れ

手引き（初版）の公表

- 流域水循環計画等の既存の評価指標・評価手法を調査・分析
- 評価指標・評価手法原案を作成

地下水を課題とする地域での実証

- 地下水を課題として流域マネジメントに取り組む地域で実証
- 初版の有効性・妥当性を評価（有識者等から意見聴取）

必要に応じて手引きの改正

- 原案に対する評価をフィードバック
- 評価指標・評価手法案を作成

水循環の健全性・流域マネジメントの取組効果等を「見える化」する手引き（初版）

- 水循環政策本部事務局は、水循環の健全性・流域マネジメントの取組効果等を「見える化」する手引き（初版）を作成。
- 手引きは、「見える化」するための評価指標・評価手法の考え方や計算方法などをとりまとめた「評価指標・評価手法の説明書」と評価値を計算するソフトの取り扱い方をまとめた「評価値計算ソフト等の取扱い説明書」で構成。

評価指標・評価手法の説明書

1. はじめに
2. 評価の流れ
3. 評価指標と評価軸の設定
4. アンケートの作成
5. アンケート調査対象者の選択とアンケートの実施
6. アンケート結果の入力と階層分析法(AHP)を用いた評価値の計算
7. 階層分析法(AHP)による解析結果の分析

評価値計算ソフト等の取扱い説明書

1. はじめに
2. 概要
3. 準備
4. アンケート結果を用いた評価値算定の流れ　＜質問タイプA、B-1の場合＞
5. 水循環指標AHP解析ソフトの操作マニュアル